

宮内庁正倉院事務所所蔵

# 聖語蔵経卷

カラーデジタル版



第5類 甲種写経 第50号 摩訶般若波羅蜜經 卷11

正倉院事務所が長年に亘り調査・修理・保存を重ねてきた『聖語蔵』経巻4,960巻の出版事業をすすめてまいりました。このたび第一期 隋・唐経篇、第二期 天平十二年御願経、第三期 神護景雲二年御願経、第四期 甲種写経につづき第五期『乙種写経』の刊行がはじまりました。

仏教学、歴史学、文献学、文学、国語学、書道史など、様々な研究分野に大きな転機をもたらすものとして内外の期待を集めているものです。1200年の時を経て、今その全容が明らかになります。

編集：宮内庁正倉院事務所

監修：高崎 直道 築島 裕 皆川 完一

発行・発売：丸善雄松堂株式会社

## 第一期

隋・唐経篇(243巻) CD-R22枚 ¥1,300,000(本体)+税

## 第二期

天平十二年御願経

◆第1回配本(239巻) CD-R22枚 ¥1,400,000(本体)+税

◆第2回配本(252巻) CD-R22枚 ¥1,400,000(本体)+税

◆第3回配本(259巻) CD-R22枚 ¥1,400,000(本体)+税

## 第三期

神護景雲二年御願経

◆第1回配本(205巻) DVD版3枚 ¥1,400,000(本体)+税

◆第2回配本(267巻) DVD版3枚 ¥1,400,000(本体)+税

◆第3回配本(270巻) DVD版3枚 ¥1,400,000(本体)+税

## 第四期

甲種写経

◆第1回配本(158巻) DVD版2枚 ¥900,000(本体)+税

◆第2回配本(158巻) DVD版2枚 ¥900,000(本体)+税

## 第五期

乙種写経

◆第1回配本(197巻) DVD版4枚 ¥1,400,000(本体)+税

◆第2回配本(202巻) DVD版4枚 ¥1,400,000(本体)+税

◆第3回配本(201巻) DVD版4枚 ¥1,400,000(本体)+税

◆第4回配本(201巻) DVD版4枚 ¥1,400,000(本体)+税

◆第5回配本(201巻) DVD版4枚 ¥1,400,000(本体)+税

◆第6回配本(201巻) DVD版4枚 ¥1,400,000(本体)+税

◆第7回配本(201巻) DVD版4枚 ¥1,400,000(本体)+税

◆第8回配本(201巻) DVD版4枚 ¥2,200,000(本体)+税

分売価格 第8回-1 (DVD2枚 No.130-131)

¥1,100,000(本体)+税

第8回-2 (DVD2枚 No.132-133)

¥1,100,000(本体)+税

◆第9回配本(201巻) DVD版4枚 ¥2,200,000(本体)+税

分売価格 第9回-1 (DVD2枚 No.134-135)

¥1,100,000(本体)+税

第9回-2 (DVD2枚 No.136-137)

¥1,100,000(本体)+税

◆第10回配本(199巻) DVD版4枚 ¥2,200,000(本体)+税

分売価格 第10回-1 (DVD2枚 No.138-139)

¥1,100,000(本体)+税

第10回-2 (DVD2枚 No.140-141)

¥1,100,000(本体)+税

MARUZEN-YUSHODO

## 聖語藏経卷乙種写経の刊行に寄せて

鶴見大学学長・東京大学名誉教授

### 木村清孝

平成十二年にスタートした聖語藏経巻のカラージタル版の刊行は、関係者の熱意と努力の下、第一期「隋・唐経篇」を皮切りに順調に進み、今回、第五期「乙種写経」の刊行が開始されることとなった。この「乙種写経」は、聖語藏経巻写経之部の掉尾を飾るものであり、おおむね院政期から南北朝期に亘って書写され、長く東大寺尊勝院に蔵されてきた二百九十点・二千十二巻が含まれている。

聖語藏経巻といえば、多くの人がまず頭に思い浮かべるのは、第一期刊行の隋経・唐経か、第二期刊行の光明皇后の天平十二年御願経であろう。確かにそれらは、文化財としても歴史資料としても、抜群の価値を有している。しかしながら、この「乙種写経」にも、一面においてそれらに劣らない価値がある。というのは、その文化的価値についてはこれからの詳細な調査・分析を待たなければならぬが、少なくとも「乙種写経」がもつ資料的価値は、全体を鳥瞰するだけでも、極めて高いことが窺えるからである。われわれは、その調査・研究を通じて、中古から中世にかけて展開した日本仏教のリアルな様態の一面をしっかりと押さえることが十分に期待できるのである。

例えば、筆者がすでに得ている「乙種写経」の基本情報だけからも、次のような諸点が窺い知られる。①般若経に対する熱い信仰・祈願があったこと（『大般若経』六〇〇巻三部「部分的に散逸」の比重が極めて大きい）、②仏教の基礎学が決して軽視されていなかったこと（『難解なアビダルマ文献が少なからず書写されている』）、③中国仏教への依存度が相当に高いこと（『諸種の中国撰述論書が多く書写されている』）、④『三階仏法』やいわゆる疑偽経論など、民衆仏教関連の重要な文献が存すること、⑤奥書・書き込み・加點・押印等、貴重な研究材料を提供するものが相当数あること、などである。第五期「乙種写経」の発刊を鶴首して待つ所以である。

## 「聖語藏乙種写経」の刊行に寄せて

日本女子大学教授・神奈川県立金沢文庫長

### 永村眞

平安中期の天暦元年（九四七）、大僧都光智の本願により創建された東大寺尊勝院は、華嚴宗本所として寺内の三面僧坊や法華堂に止住する華嚴宗僧の頂点に位置し、同宗の伝持に重要な役割を果たした。八宗兼学を標榜する東大寺にあつて、創建期より今日に至るまで多くの寺僧による修学活動により、諸宗にわたる多数かつ多様な経巻・聖教が書写・撰述され伝来してきた。古代・中世の仏教史研究において、東大寺の諸経蔵に伝えられた膨大な経巻・聖教は、修学活動の実態を語る重要な研

究素材となる。とりわけ東大寺の創建と発展に決定的な役割を果たした華嚴宗は、その教学の具体的な姿を尊勝院の経蔵である「聖語藏」に伝えた。この「聖語藏」は、東大寺「三倉」（正倉院）や「東南院文書」等と同じく、明治時代に皇室に献納され、現在は宮内庁正倉院事務所に管理される。さて平成十二年度から既に四期にわたり「聖語藏経巻」の高精細なデジタル画像が、丸善株式会社から販売され、詳見が容易では無かつた隋・唐経をはじめ「天平十二年御願経」・「神護景雲二年御願経」・「甲種写経」の全貌が明らかとなった。さらに平安院政期から鎌倉・南北朝時代に成立した「乙種写経」（二九〇点（二千余巻））の第五期第Ⅰ回配本（全10回配本予定とのこと）の撮影が終了

し、刊行と聞く。現在は東大寺図書館（東大寺総合文化センター）に架蔵される経巻・聖教と同根をなす「乙種写経」は、東大寺に伝持された仏法の研究には不可欠の史料群といえる。その中には、華嚴経・同疏は言うを俟たず、諸経目録から「義章問答」・「涅槃講式」等、幅広い論疏や聖教が見られる。これら経巻・聖教個々の史料学的な研究と併行して、東大寺図書館に現存する経巻・聖教と一体の史料群としての検討が加えられるならば、中世における東大寺の諸宗教学の修学実態の解明が、より詳細に進められるわけで、その刊行を大いに待望するところである。

# 国際的な研究・教育資源としての 聖語蔵経巻

富山大学人文学部教授

## 小助川 貞次

漢文文献を自言語で読解し、その結果を種々の符号を用いて漢文文献に直接加添していく現象は、日本語のみならず、朝鮮語、中国語、ベトナム語にも存在し、これらを相互に比較すれば東アジアにおける漢文訓読の特殊性と普遍性が見えてくる。類似の現象は、ラテン語文献などの欧文文献にもあり、古典籍に対する人類共通の知的営為があったことが理解される。ただ残念なことは、最も研究が進んでいるはずの日本語資料の公開が遅れて

いることである。すでに敦煌文献は大英図書館の I D P とフランス国立図書館の gallica によって、また欧文文献（スイス国内中世資料）も e-codices によってインターネット上で資料が公開されている。このままの状況が続けば、日本の古訓点研究・漢文訓読研究は世界の趨勢から大きく遅れをとることは明らかである。

このような中で聖語蔵経巻第五期第六類、すなわち院政期、鎌倉、南北朝期を中心とした乙種写経二九〇点、二〇一二巻が刊行され、正倉院聖語蔵経巻の「写経之部」七二五点、四〇六三巻の全てが出揃うことには極めて高い意義がある。一大コレクションの中から優品を選び出すことは勿論重要なことであるが、コレクションの真価は全体像が見えてこそ初めて分かるものである。この度の第五期第六類の中にも訓点資料が含まれていること

は、すでに春日政治博士、鈴木一男氏によって紹介されているが、これまで刊行された分を含めて、これらを精密なデジタル画像で実見・調査できることは、「正倉院聖語蔵経巻の古訓点研究」が再出発できることを意味している。日本の古訓点研究・漢文訓読研究が再び勢いを取り戻し、国際的な研究をリードしていくことは間違いない。

第一期隋・唐経篇が刊行されてすでに十数年。この間、コンピュータ技術は急速な進歩を遂げ、デジタル画像を利用する環境は格段に進展・改善した。聖語蔵経巻が世界に誇る貴重な文化財として、研究のみならず教育の場で活用されることもまた間違いない。国際的な研究・教育資源としての聖語蔵経巻の刊行を大いに慶ぶものである。

# デジタル版「聖語蔵経巻」の活用

宮内庁正倉院事務所保存課調査室長

## 飯田 剛彦

丸善株式会社によるデジタル版「聖語蔵経巻」は、このたび第五期乙種写経の刊行を迎えることとなった。「写経之部」の最後として一つの区切りであり、正倉院事務所に奉職して以来十三年余、撮影現場で作業を担ってきた者の一人として、感慨ひとしおである。

「写経之部」について蓄積されたデータ量は膨大であり、現在希求されるのは、その積極的な活用であると考ええる。今回『正倉院紀要』三十四号において「神護景雲二年御願経」の性格に関する考察を公表したが、これは丸善DVDを最大限に利用した成果である。

称徳天皇勅願の神護景雲二年御願経は聖語蔵に七四二巻が分類・整理されるが、神護景雲二年（七六八）五月十三日付の巻末願文を有するものはわずかに四巻のみで、それ以外の経巻の素性は実際には不明であった。正倉院文書との対応から各経巻が属する写経事業・担当経師を類推することはある程度可能であるが、その蓋然性の高さは、墨書の点画の配列や逆筆の有無等経師の書き癖、経師が選択した字体の傾向等、個別経巻にあたってはじめて検証可能となる。この作業は原本を並べて実施するより、画面をスクロールさせて文字を探索し、対象を高精度で拡大できる丸善DVDを用いて行う方が俄然効率的である。また、丸善DVDは料紙の色や質感、白書、

界線の規格等の情報も高い再現性で提供しており、有効な判断材料となる。これらの検討を通じ、願文のない経

巻の大半は宝亀年間の五部一切経の内の、今更一部経であることが判明した。今回、大量の経巻の仕分けを曲がりなりに成し遂げられたのは、丸善DVDのお蔭であると云っても過言ではない。

五月一日経と共に奈良朝一切経の双璧をなす景雲経が聖語蔵には四巻しかなかった、という結論は衝撃的であるが、裏を返せば、正倉院文書と対応する一切経が新たに確認された喜ばしい事態とも評価できる。今後は文書の記載内容と経巻そのものとの相関について、より詳細な検討を加える必要がある。また、今更一部経の本経とされる五月一日経との逐次的な比較も求められる。これらの新たな課題に取り組み際、丸善のデジタル版「聖語蔵経巻」は不可欠な情報源であり、より積極的かつ広範に利用されることを望むものである。

# 聖語藏經卷

## 【第一期】隋·唐經篇

### 【隋經】

賢劫經 10卷、大智度論 2卷、十地經論(註) 3卷、十地論 3卷、大莊嚴經#、大莊嚴論#、撰大乘論積論#、那先比丘經

### 【唐經】

大乘大集地藏十輪經 卷1-5合本、大毘婆沙論(註) 2卷、成唯識論、金光明經、大智度論 69卷、四分律 16卷、深密解脫經 5卷、顯揚聖教論 10卷、大乘阿毘達磨雜集論 5卷、摩訶般若波羅蜜經(註) 35卷、阿毘達磨大毘婆沙論 2卷、前世三轉經、說無垢稱經、大般涅槃經集解 18卷、大薩遮尼乾子經 10卷、分別緣起初勝法門經、大方廣十輪經 7卷、天台大師五方便門、阿難同學經、勝天王般若波羅蜜經 6卷、佛說不增不減經、虛空藏菩薩神呪經、虛空藏菩薩經、佛說德護長者經、根本薩婆多部律撰 2卷、解深密經 4卷、摩訶般若波羅蜜道行經# 10卷、大般若經#、普超三昧經 3卷、唐經斷簡# 4卷

## 【第二期】天平十二年御願經

### ◆第1回配本

呵鵝阿那含經#、沙曷比丘功德經、夙遺日摩尼寶經#、佛說諫王經、佛五百弟子自說本起經#、佛說李經、佛說一向出生菩薩經、佛說淨業經、佛說菩薩藏經 3卷、燈指因緣經、人本欲生經、大魚事經、最無比經、一切法高王經、金剛場陀羅尼經、過去莊嚴劫千仏名經、佛說菩薩逝經、大威燈光大仙人問疑經#、泥犁經、四分比丘尼羯磨法、四分尼戒本、五分比丘尼戒本、禪秘要經 5卷、度諸仏境界智光嚴經、佛說阿闍世王經、阿育王經、佛說菩薩本業經、開皇三寶錄 2卷、大比丘三千威儀、過去現在因果經 4卷、修行道地經、悲華經 10卷、佛說明度五十校計經、佛說幻土仁賢經、佛說如來興顯經 4卷、大樹緊那羅王所問經 4卷、佛說中陰經、大乘顯識經、佛說德護長者經、佛說如幻三昧經 4卷、摩訶衍寶嚴經(毘邪娑問經)#、佛華嚴入如來德智不思議經# 2卷、佛說濡首菩薩無上清淨分衛經 2卷、佛說稱揚諸仏功德經 2卷、央掘摩羅經、統高僧傳、聖善住天子所問經 3卷、維摩詰所說經 3卷、出曜經#、未曾有因緣經、毘邪娑問經 2卷、無所有菩薩經 2卷、增壹阿含經 38卷、別說雜阿含經#、雜阿含經 27卷、中阿含經 28卷、別說雜阿含經 5卷、本事經 5卷、長阿含經 11卷、增壹阿含經# 2卷、毘尼母經 6卷、諸法本無經 2卷、法句譬喻經 4卷、佛說寶雨經 3卷、法集經 2卷、大方廣三戒經、菩薩行方便境界神通變化經 2卷、般若波羅蜜光讚經# 8卷、文殊師利所說不思議仏境界經#、度世品經、道神足無極變化經、小品般若波羅蜜經# 2卷

### ◆第2回配本

毘尼摩得勒伽、四分律# 3卷、律撰、寶積三昧文殊師利問法身經、大乘悲分陀利經、瑜伽師地論 80卷、十誦律 23卷、僧祇律 7卷、善見律 9卷、四分律(註) 28卷、大宝積經論#、大宝積經 45卷、大方等大集經 10卷、漸備一切智德經 4卷、雜阿毘曇心經、阿毘曇經 5卷、仏本行集經 16卷、阿毘達磨藏頭宗論 16卷

### ◆第3回配本

大般涅槃經集解 17卷、衆事分阿毘曇 10卷、阿毘達磨法蘊足論 10卷、阿毘曇八捷度 23卷、阿毘曇毘婆沙(註)、阿毘達磨順正理論 29卷、根本說一切部一羯磨 9卷、根本說一切部毘奈耶 24卷、雜阿毘曇心論 6卷、摩訶般若放光經 7卷、舍利弗阿毘曇(註) 7卷、根本薩婆多部律撰 10卷、根本說一切部毘陀那 2卷、根本說一切部毘奈耶律 2卷、根本說一切部毘奈耶頌 4卷、根本說一切部毘奈耶# 3卷、阿毘曇比婆沙論 2卷、根本說一切部毘奈耶雜事 32卷、根本說一切部苾芻尼比奈耶 6卷、尊婆須蜜菩薩所集 3卷、根本說一切部目得迦 2卷、撰大乘論積論 9卷、般若波羅蜜光讚經# 4卷、小品般若波羅蜜經#、樂瓔珞莊嚴方便經#、觀察諸法行經、深密解脫經 4卷、大集經月藏分# 9卷、持心經、大方廣十輪經 2卷、等集衆德三昧經、分別緣起初勝法問經、廣博嚴淨不退轉輪經 5卷、佛本行集經、佛說寶雨經、根本說一切部毘奈耶陀那頌、佛說無常經、根本薩婆多部律撰 4卷、失題經、願經斷簡# 2卷

## 【第三期】神護景雲二年御願經

### ◆第1回配本

大乘悲分陀利經 2卷、如來示教勝軍王經、優婆塞戒經、佛本行集經、五分律 27卷、三無性論、佛說德光太子經、佛說象頭精舍經、摩訶摩耶經、大方廣佛華嚴經(註) 104卷、鼻奈耶律 2卷、持人菩薩經 4卷、長壽王經、轉婆沙論 5卷、文殊師利佛土嚴淨經 2卷、佛說當來變經、信力入印法門經 3卷、東方最勝燈王如來經、文殊師利所說不思議仏境界經 2卷、度世品經 4卷、佛說李經、灌頂經、無所有菩薩經、毘尼母經 5卷、等目菩薩經、四分比丘戒本、四分比丘尼戒本、月上女經、佛說如幻三昧經 4卷、淨飯王涅槃經、佛說稻芋經、顯揚聖教論 10卷、奮迅王問經 2卷、師子月佛本生經、寶女所問經 3卷、佛說幻土仁賢經、犯戒應心輕重經、佛說越難經、僧祇比丘戒本#、僧祇比丘尼戒本#

### ◆第2回配本

寶雲經 5卷、阿毘達磨集異門足論 6卷、佛說持心梵天經 4卷、大方廣三戒經、大方等大集經 2卷、大方等大集經賢護分#、大方等大集經、大方等大集經賢護分#、大方等大集經 2卷、大方等大集經賢護分#、大方等大集經 3卷、十誦律 17卷、諸菩薩求本業經、解脫戒本、大乘方廣總持經、大悲經 3卷、大乘頂王經、大方廣寶篋經 3卷、大集須彌藏經 2卷、僧伽陀經 3卷、冥相般若波羅蜜經、月燈三昧經 7卷、羅摩伽經 2卷、占察善惡業報經 2卷、度諸仏境界智光嚴經、佛說濡首菩薩無上清淨分衛經 2卷、佛說無所怖望經、佛說莊嚴菩提心經、金剛般若波羅蜜經論、說無垢稱經 4卷、薩婆多毘尼婆沙 6卷、大樹緊那羅王所問經 4卷、撰集百緣經、觀察諸法行經# 4卷、緣生初勝分法本經#、佛說鄒真陀羅經 2卷、毘尼摩得勒伽 9卷、央掘摩羅經 4卷、佛說戒消災經、佛說須摩提經、佛說堅心政意經、佛說童施女經、佛說長者女菴提遮師子吼了義經、一切智光明仙人慈心因緣不食肉經、八仏名号經、大般泥洹經 6卷、菩薩投身餓虎起塔因緣經、大明度無極經 3卷、摩訶僧祇律 17卷、阿毘達磨發智論 18卷、佛說除恐災患經、拔跛菩薩經、佛說胞胎經、阿毘達磨識身足論 5卷、增壹阿含經 2卷、佛華嚴入如來德智不思議境界經 2卷、華手經 10卷、佛說無量清淨平等覺經、發覺淨心經 2卷、衆事分阿毘曇經 2卷、舍利弗阿毘曇論 4卷、思益梵天問經 3卷、本事經 5卷、菩薩善戒經 7卷、阿毘達磨藏頭宗論 2卷、佛本行集經 29卷、根本說一切部苾芻尼比奈耶 6卷、虛空藏菩薩神呪經、虛空藏菩薩經、佛說菩薩本業經、阿闍闍國經# 2卷、慧上菩薩問大善權經#、寶星陀羅尼經 8卷、大般涅槃經後分 2卷、阿闍闍王女經、菩薩地持經 3卷

### ◆第3回配本

菩薩地持經 6卷、十誦比丘戒本、十誦比丘尼戒本、等集衆德三昧經、根本說一切部毘奈耶 30卷、根本說一切部毘奈耶雜事 19卷、金剛三昧本性清淨不壞不減經、沙彌法戒并威儀#、佛說解節經、金光明經(註) 5卷、尊勝菩薩所問一切諸法入無量門陀羅尼經、漸備經 3卷、如來莊嚴智慧光明入一切仏境界經、觀仏三昧經 7卷、佛說業報差別經、普門品經、阿惟越致遮經、阿毘曇毘婆沙論 3卷、佛說阿彌陀經、菩薩十住經、摩訶般若波羅蜜經 26卷、舍利弗問經、阿毘曇八捷度論 27卷、根本薩婆多部律撰 11卷、大宝積經 20卷、根本百一羯磨 8卷、佛說明度五十校計經、楞伽經、雜阿毘曇心論、佛說稱揚諸仏功德經、佛說菩薩行方便境界神通變化經 2卷、造立形像福報經、法滅尺經、優婆夷淨行法門經、象腋經、道神足無極變化經、阿毘曇經(註) 2卷、大方等陀羅尼經 4卷、根本說一切部毘奈耶頌 4卷、文殊尸利行經、力莊嚴三昧經、郁迦羅越問菩薩行經、大方等大集賢護經 2卷、持世經 2卷、阿毘達磨品類足論 4卷、人本欲生經、佛說方等般泥洹經#、維摩經#、大方等大集菩薩念仏三昧經 9卷、觀世音菩薩受記經、過度人道經、自在王菩薩經、大方等頂王經、沙彌尼離戒文、大方廣莊嚴經、根本說一切部戒經、佛說法鏡經、離垢旋女經、四分律、呪五首#、景雲經斷簡(註) 35卷

## 【第四期】甲種写経

### ◆第1回配本

師子莊嚴王菩薩請問經、十地經論、仏説瞿曇彌記果經、仏説八無暇有暇經、中論、仏説仏医經、金光明經 3卷、過去現在因果經、成実論、大方広仏華嚴經 卷72-80合本、虚空菩薩經、摩訶衍寶藏經、天平經斷簡(#) 4卷、大乘顯識經、維摩詰經、大方広仏華嚴經 2卷、大智度論、四童子三昧經 3卷、觀仏三昧經 2卷、法華決訳記、法華略讚嘆、五分律 20卷、賢者五福經、比丘聽施經、法鏡經、觀察諸法行經受記品、大莊嚴論、弁中辺論、造塔功德經、誠実論經 7卷、大方広仏華嚴經、大乘義章 3卷、探玄記 4卷、梵網經疏抄 3卷、根本説一切有部尼陀那目得迦#、弥勒來時經、大方広仏華嚴經 2卷、華嚴經論#、大方広仏華嚴經 2卷、大智度論 7卷、大乘掌珍論、大方広仏華嚴經 2卷、十地論 3卷、般若灯論 5卷、仏説四未曾有法經、大乘阿毘達磨雜集論 10卷、妙法蓮華經憂波提舍#、十地論、十二門論、大般若經、十地論#、摩訶般若波羅蜜經 16卷、大方広仏華嚴經 26卷

### ◆第2回配本

大方等大集經 4卷、像法決疑經、大疏鈔玄談義解 8卷、阿毘達磨俱舍論 7卷、法華經疏 2卷、法華略抄#、伽耶山頂經、大般涅槃經 25卷、大般涅槃經後分#、大乘大集地藏十輪經 2卷、金光明最勝王經注釈、大乘金剛髻珠菩薩修行分、金剛秘密善門陀羅尼經、金光明經 7卷、説一切有部俱舍論#、仏説弘道広頭三昧經 2卷、摩訶般若波羅蜜經、放光經#、法華經二十八品略釈、法華論疏、金光明最勝王經疏、大方広仏華嚴經 8卷、大聖文殊師利菩薩仏利功德莊嚴經 2卷、大莊嚴論 5卷、大乘莊嚴經論#、大莊嚴論、大阿羅漢所説法住記、金剛般若經講述、十地經論、弘道広頭三昧經、弁中辺論、法華略記、法華論經子注#、法花疏#、大般若經 14卷、探玄記、大方広仏華嚴經行願品 27卷、仏名經、大方広仏華嚴經論 4卷、甲種古写経断簡(##) 14卷、大品經 2卷

## 【第五期】乙種写経

### ◆第1回配本

金剛般若經疏、諸法最上王經、大方広仏華嚴經 3卷、俱舍論、異部宗輪論 2卷、探玄記附問答記 3卷、普曜經 5卷、華嚴長者問仏那羅延力經、衆經目錄 5卷、大莊嚴論 2卷、義章問答 3卷、正法華經 7卷、阿毘達磨順正理論 24卷、探玄記 2卷、大方広仏華嚴經、仏華嚴入如來德智不思議境界經#、大方広仏華嚴經(##) 51卷、華嚴經論#、大方広仏華嚴經 82卷、大方広仏華嚴經入法界品#

### ◆第2回配本

大方広仏華嚴經 3卷、勝光天子經、大方広入如來智徳不思議經、大方広如來不思議境界經、勝思惟梵天所問經 6卷、菩薩瓔珞本業經 2卷、像法決疑經、梵網經、大般若經(##) 186卷

### ◆第3回配本

大般若經(##) 81卷、中論 5卷、像法決疑經#、俱舍論、大周刊定衆經目錄 3卷、一百五十讚仏頌、三慧經、迦葉赴仏般涅槃#、分別業報略經#、大方広円覚修多羅了義經、慈氏菩薩所説大乘縁生稻掩喻經#、不空羼索陀羅尼經、不空羼索陀羅尼自在王呪經#、不空羼索呪經、経律異相 30卷、古今訳経図記 4卷、統高僧伝 9卷、仏説転女身經、婆藪槃豆法師伝、業成就論、沙弥十戒法並威儀#、百喻經、無明羅刹集 # 2卷、仏説普曜經 3卷、阿毘曇五法行經、成唯識宝生論 3卷、阿毘達磨大毘婆沙論(##) 20卷

### ◆第4回配本

阿毘達磨大毘婆沙論(##) 131卷、龍樹菩薩勸誡王頌、大般若波羅蜜多經#、般若灯論、仏説十力經、轉婆沙論 12卷、大聖歡喜双身毘那夜迦天形像品儀軌法#、仏説出家功德經、轉婆沙論十八界処#、仏説罪福報応経、四品学法經、仏説五蘭盆經、仏説聖法印經、無量寿経論、十門弁惑論 2卷、師子素欏婁王断肉経#、証契大乘經 2卷、縁起聖道經、五百問事經、大宝積経論 3卷、弥沙塞戒本#、夢相思慮論、金剛仙論 5卷、仏説光仏経、仏説治意経、仏説弃意経、大方広未曾有経善巧方便品#、仏説浴像功德経#、仏説出生無量門持経、仏説弥勒下生経、放鉢経、大乘唯識論、律二十二明了論、因明入正理論、因明正理門論、仏説如來独証自誓三昧経、仏臨涅槃法住経、三具足経憂波提舍#、三法度論、仁王護国般若波羅蜜經 3卷、坐禅三昧経 2卷、大方等大集經 8卷

### ◆第5回配本

大方等大集經 16卷、阿毘達磨俱舍論(##) 7卷、甚希有経、仏説大吉祥天女十二名号経、甄正論、大唐内典録(##) 12卷、仏説古來世時経、比丘避女惡名欲自殺経、十地論、十地經(##) 3卷、十地論 3卷、十地經# 8卷、文殊師利問経 2卷、釈迦方志#、十二頭陀經、無垢浄光大陀羅尼經、

正法念処經 60卷、泥梨経、弟子死復生経、涅槃經本有今無偈論#、涅槃論、撰集百緣経 10卷、仏爲年少比丘説正事経、弘明集 13卷、広弘明集# 2卷、仏説懈怠耕耨者経、三階仏法 3卷、有徳女所問大乘経、一切経音義 7卷、惟日雜難經、遺教経論、付法蔵因縁経 5卷、大乘百法明門論、無字宝篋經、一切如來心秘密全身舍利宝篋印陀羅尼経、貞元新定釈教目錄 20卷、起世因本経 10卷、続古今訳経図記#

### ◆第6回配本

法顯伝、仏説腹中女聽経、仏説堅固女経、阿毘達磨界身足論、仏説群牛譬経、仏説善法方便陀羅尼呪経、仏説陀羅尼集経 12卷、陀羅尼雜集 3卷、增壹阿含経、別訳雑阿含経 2卷、仏説瞿曇彌記果經、寂照神變三摩地経、法句経 2卷、仏説梵摩難国王経、仏垂般涅槃略説教誡経、阿毘達磨藏頭宗論 2卷、大智度論 9卷、菩薩処胎経 5卷、弥勒菩薩所問経論 5卷、盧至長者因縁経、離垢慧菩薩所問礼仏法経#、一字奇特仏頂経、中辺分別論、竜樹菩薩爲禅陀迦王説法要偈、優婆塞五戒相経、添品妙法蓮華経 5卷、転法輪経憂波提舍#、新訳大虚空蔵菩薩所問経 7卷、仏説灌洗仏形像経、大普集方等王経虚空蔵所問#、鬼子母経、大般涅槃経後分、大乘入楞伽経(##) 13卷、求法高僧伝 2卷、梵網経盧舍那仏説菩薩心地戒品第十#、長爪梵志請問経、諸経要集 6卷、撰大乘論本# 3卷、正恭敬経、国王不梨先尼十夢経、撰大乘論積(##) 7卷、撰大乘論積# 2卷、唯識二十論、頗毘娑羅王詣仏供養経、仏説不自守意経、仏母大孔雀明王画像壇場儀軌法、歴代三宝記、随相論中解十六諦#、開皇三宝録 4卷、能断金剛般若波羅蜜多経論積# 3卷、千転陀羅尼觀世音菩薩呪経、蓮華面経、寶頭盧説法経、阿難陀目佉尼呵離陀隣尼経、阿毘曇毘婆沙論(##) 57卷、仏昇切利天爲母説法経、中阿含経 2卷、涅槃講式、放光経#、摩訶般若波羅蜜經(##) 11卷

### ◆第7回配本

摩訶般若波羅蜜經(##) 21卷、大般若經、大智度論#、大般若経 175卷、法華義疏、妙法蓮華経憂波提舍論(##) 2卷

### ◆第8回配本

#### 第8回-1

集一切福德三昧経、順權方便経、文殊師利宝蔵経、千手千眼觀世音菩薩大身呪本、阿毘曇経、觀所縁々論釈、成実論、大方広仏華嚴經 32卷#、華嚴經論#、大方広仏華嚴經 61卷#

#### 第8回-2

大方広仏華嚴經 67卷#、大般若経#、大方広仏華嚴經 23卷#、大方広仏華嚴經不思議仏境界分#、大方広仏華嚴經入法界品四十二字觀門#、分別功德論 3卷、高僧伝、統高僧伝#、高僧伝 2卷

### ◆第9回配本

#### 第9回-1

高僧伝 11卷#、統高僧伝 2卷#、大孔雀明王経、大丈夫論、菩提資粮論、十住毘婆沙論、阿喇多羅陀羅尼経、度一切諸仏境界智嚴経、仏入涅槃密迹金剛力士哀恋経、摩訶般若放光経 16卷、大智度論#、薬師如來本願経、金剛般若波羅蜜經破取著不壞仮名論 2卷#、維摩詰経 2卷#、不動念論儀軌、十地論#、羯磨#、曇無徳律部雜羯磨#、持世経 2卷、大般若経53卷#

#### 第9回-2

大般若経 100卷

### ◆第10回配本

#### 第10回-1

大般若経 87卷、阿毘曇経#、中観論、撰集三蔵及雜蔵伝、仏説諸法勇王経、阿毘達磨俱舍論#、弘道広頭三昧経、金剛般若論 2卷、俱舍論 2卷#、能断金剛般若波羅蜜多経論頌#、十二門論、普賢処説経

#### 第10回-2

護淨経#、入法界体性経、顯識論、沙弥尼戒経、大乘入楞伽経、大乘伽耶山頂経、薩婆多毘尼毘婆沙、瑜伽師地論、大智度論疏#、法華経 3卷、法華経論 2卷、俱舍論頌積疏#、俱舍論 12卷、俱舍論頌積疏 2卷#、俱舍論#、十地論、大方広仏華嚴経、解深密経#、一字奇特仏頂経#、仏昇切利天爲母説法経、千手千眼觀世音菩薩陀羅尼経、大般若経#、雜阿毘曇心論、勸発諸王要偈、一字奇特仏頂経、牟梨曼陀羅呪経、仏説施燈功德経、摩訶般若波羅蜜經、三宝感応要略録#、阿毘達磨大毘婆沙論 4卷、説一切有部発智大毘婆沙論、入阿毘達磨論、轉婆沙論、大方等大集経 2卷、正法華経、法華経、華嚴長者問仏経、華嚴経、六菩薩名、満願子経、仏性論 2卷、木槌子経、五王経、略教誡経、三法度論、曼殊師利功德経、中辺分別論、請寶頭盧法、譬喻経、仁王護国般若経、千手觀音悲心陀羅尼、大悲経、不空羼索神變真言経、経律異相、宝性論、善惡業報経#、五千五百仏名経、大方広仏華嚴経#、妙法蓮華経#、俱舍論要文集#、百千頌大集経地蔵菩薩請問法身讚#、大沙門百一羯磨法、大威力烏菟瑟摩明王経、成実論、摩訶般若波羅蜜經、阿毘曇経 4卷、乙種古写経断簡 10卷#

卷数表示が無いものは1巻を指し、昭和5年刊「正倉院聖語蔵経巻目録」と相違するものは経巻名あるいは巻番号の後に#を付しました。

## ■動作環境について

- \* Windows および Macintosh 対応。
- \* Windows Vista、Windows 7、Windows8、Windows10 で使用可。
- \* Celeron™1.2GHz 以上。
- \* ブラウザ：インターネットエクスプローラ V5.0 以降、モジラファイアフォックス（グーグル・クローム、マイクロソフトエッジの使用は推奨しません）
- \* Javascript™対応。（ブラウザの設定オプションで有効期限を過ぎた「証明書」を削除してください。）
- \* 内蔵メモリ 126MB 以上。
- \* 空きハードディスク 100MB 以上。
- \* 1,024×768 ピクセルでフルカラー表示可能なビデオカード。
- \* メディアに対応した読み取り装置（DVD ドライブ）。
- \* Macintosh はパワー PC601/120MHz 以上。
- \* Macintosh は OS8.5 以上メモリー 128MB 以上。

- \* Windows Vista / Windows7 / Windows8、Windows10、インターネットエクスプローラは、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- \* グーグル・クロームは、米国グーグル社の登録商標です。
- \* モジラファイアフォックスは、米国モジラ・ファウンデーション社の登録商標です。
- \* Celeron™は、米国インテル社の登録商標です。
- \* Macintosh は、米国アップル社の登録商標です。
- \* Java 及び全ての Java 関連の商標およびロゴは米国およびその他の国における米国オラクル社の商標または商標登録です。

## ■ディスプレイ設定について

ディスプレイの表示解像度は 1024×768 ピクセル、フルカラー表示でご使用ください。  
(Windows では High Color 以上、Macintosh は約 32,000 色以上)

## ■支店・営業所

札幌支店	〒004-8502 札幌市清田区北野6条1-4-60	Tel:011-884-8222 Fax:011-884-8250
仙台支店	〒980-0811 仙台市青葉区一番町2-10-17 仙台一番町ビル	Tel:022-222-1133 Fax:022-265-7516
盛岡営業所	〒020-0015 盛岡市本町通1-9-14 JT本町通ビル2階	Tel:019-654-1051 Fax:019-654-1359
名古屋支店	〒460-0008 名古屋市中区栄1-24-15 JPR名古屋伏見ビル5階	Tel:052-209-2602 Fax:052-209-2614
金沢支店	〒920-0901 金沢市彦三町2-1-10 真和ビル2階	Tel:076-231-3155 Fax:076-231-3299
京都支店	〒607-8085 京都市山科区竹鼻堂ノ前町46-1	Tel:075-757-8880 Fax:075-757-8882
大阪支店	〒559-0034 大阪市住之江区南港北1-13-65 コスモプラザビル12階	Tel:06-7166-0380 Fax:06-7166-0387
神戸支店	〒559-0034 大阪市住之江区南港北1-13-65 コスモプラザビル12階	Tel:06-7166-0389 Fax:06-7166-0390
岡山支店	〒700-0822 岡山市北区表町1-3-50	Tel:086-231-2262 Fax:086-231-4370
松山営業所	〒790-0806 松山市緑町2-10-10 FURUMOTOビル1階	Tel:089-941-5279 Fax:089-933-7754
広島支店	〒730-0037 広島市中区中町7-23 住友生命平和大通り第2ビル6階	Tel:082-247-2252 Fax:082-247-1576
九州支店	〒815-0031 福岡市南区清水2-15-11	Tel:092-561-1831 Fax:092-561-1854
沖縄営業所	〒900-0021 那覇市泉崎1-12-7 不動産会館ビル6階	Tel:098-861-4837 Fax:098-863-0090



**丸善雄松堂株式会社** 学術情報ソリューション事業部 ソリューション開発グループ

〒105-0022 東京都港区海岸 1-9-18 国際浜松町ビル TEL.03-6367-6025 FAX.03-6367-6188

e-mail [kenkyushien@maruzen.co.jp](mailto:kenkyushien@maruzen.co.jp) <http://myrp.maruzen.co.jp/>